

# 令和2年度 決算報告

## ■ 一般会計決算の状況

令和2年度決算が第3回南牧村議会定例会において認定されました。

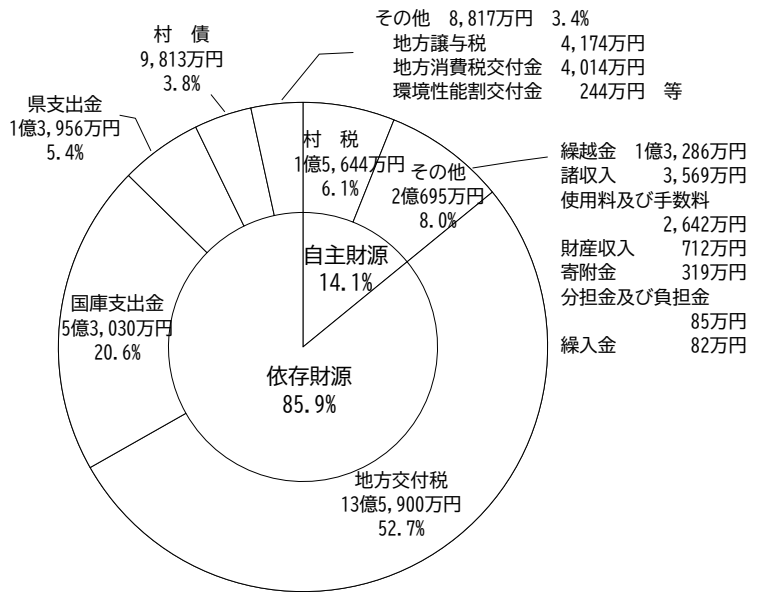
一般会計の決算額は、歳入総額25億7,855万円で対前年度比は18.2%増、歳出総額23億8,214万円で対前年度比は22.3%増となりました。歳入歳出差引1億9,641万円から令和3年度へ繰り越した897万円を差し引いた残りの1億8,744万円が黒字となりました。新型コロナウイルス感染症対策関連経費の増により、歳入歳出ともに前年度決算額を大幅に上回りましたが、財政調整基金を繰り入れる等の財源対策を講じずに収支のバランスを保つことができました。

### 歳入総額 25億7,855万円

歳入総額は、特別定額給付金事業費補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金など国庫支出金の増加によって前年に比べ3億9,777万円の増加となりました。

自主財源の村税収入は、村民税、固定資産税の減少により193万円(1.2%)減少しました。

歳入の大半を占める地方交付税は5,925万円(4.6%)増加し2年連続の増となりました。

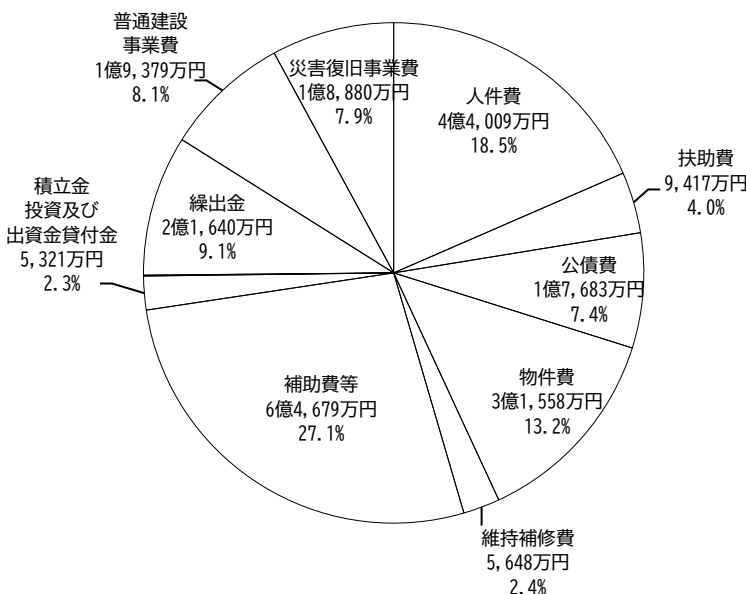


### 歳出総額 23億8,214万円

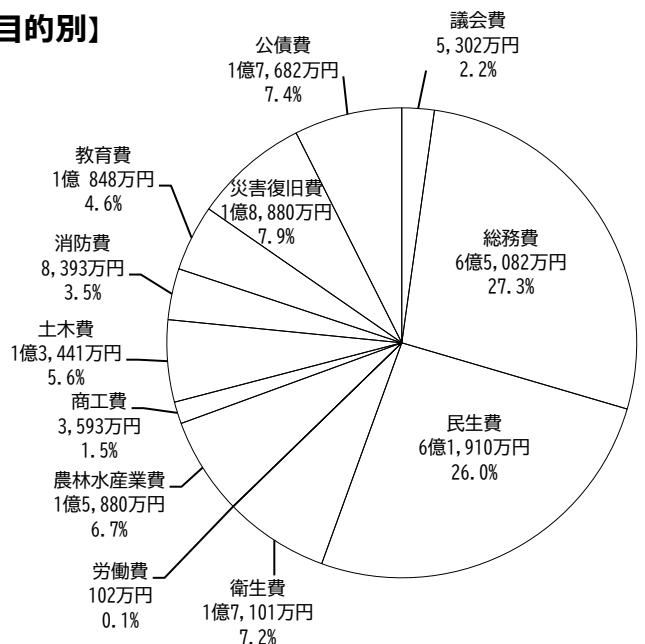
歳出総額は、国費を主な財源とする新型コロナウイルス感染症対策に係る各種事業費や令和元年台風9号災害による村道・林道等の災害復旧費の増加により、前年に比べ4億3,422万円の増加となりました。

歳出総額に占める義務的経費（人件費・扶助費・公債費）の割合は、前年度を6.8%下回り、29.9%となりました。

#### 【性質別】



#### 【目的別】



## ■ 令和2年度の主な事業

### 新型コロナウイルス感染症対策

#### ■特別定額給付金事業 1億7,830万円

国の支援対策事業として、住民一人につき10万円を交付しました。

#### ■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 1億8,488万円

国の交付金を活用し、感染防止対策に取り組むとともに、村民生活や地域経済への影響を考慮し、村独自の支援対策事業を実施しました。主なものは次のとおりです。

#### 感染拡大防止対策

##### ■行政窓口業務分散施設整備（住民センター） 4,358万円

群馬県信用組合南牧支店跡地に感染拡大時に本庁舎と分離して行政サービスを行うための施設を整備しました。

##### ■公共施設等の感染予防対策の強化・充実 1,271万円

役場庁舎、避難所、活性化センター、高齢者福祉施設、道の駅、小・中学校、スクールバス等において感染予防対策を実施しました。

非接触型検温器、空気清浄機、パーティションの設置、道の駅出入口の自動ドア化、避難所の個室化や感染拡大時に必要な資材や衛生用品の備蓄を行いました。

##### ■インフルエンザ予防接種事業 519万円

希望者に全額公費負担（自己負担なし）でインフルエンザ予防接種を実施しました。

接種率64.1%

##### ■感染防止物品配付事業 208万円

全世帯にマスクと手指消毒液を配付し、新しい生活様式を周知しました。

##### ■ETC車載器購入支援事業 82万円

接触感染リスク低減に向けたキャッシュレス決済を推進するため、ETC車載器購入に対する助成（上限3万円）を行いました。



行政窓口分散施設(住民センター)

#### 家計への支援と事業継続への応援

##### ■村民生活緊急支援事業 3,502万円

住民一人につき2万円を給付しました。

##### ■飲食店等応援商品券事業 1,978万円

飲食限定商品券を発行し、全世帯への配布及び販売を行いました。

##### ■灯油券配付事業 1,749万円

1世帯あたり200ℓ～400ℓの灯油券を配付しました。

##### ■事業継続支援補助金の交付 1,896万円

下仁田厚生病院 1,462万円

上信電鉄(株) 134万円

##### ■小規模事業者等支援事業 919万円

収入が減少した小規模事業主や個人に対し、減少率に応じて支援金（5・10・20万円）を給付しました。

##### ■地域宅配事業 651万円

外出自粛生活を応援するため、村内全域で利用できる出前代行サービスを実施しました。

##### ■福祉施設業務継続支援事業 196万円

村内の福祉施設に勤務する職員に対し、1人2万円を給付しました。



商品券、マスク、消毒液を全世帯に配布

## その他の事業

### 生活環境の整備充実

村道維持補修(高原線 他5路線)	3,540万円
テレビ・インターネット運営事業	3,138万円
乗合バス・タクシー運行事業	2,330万円
法面保護工事(住吉線 他2路線)	1,294万円

### 少子化対策・過疎対策事業

移住・定住促進(空き家改修、移住セミナー等)	631万円
子育て応援事業(保育料免除、高校生通学費補助等)	434万円

### 観光の振興

公衆トイレ整備(星尾地区)	773万円
遊歩道整備(三段の滝、線ヶ滝)	589万円

### 教育の充実

小・中学校における1人1台タブレット端末環境整備	364万円
--------------------------	-------

### 福祉・健康増進施策の充実

心身障害者福祉事業(障害介護給付費等)	5,451万円
児童福祉事業(保育園委託費、児童手当等)	3,147万円
住民健診・予防接種事業	769万円
高齢者福祉事業(いきいき祝金、敬老祝金等)	788万円

### 産業振興の充実

林道開設事業(野々上線・日向山線)	3,015万円
農業振興事業(有害鳥獣駆除・特定農作物研究支援等)	337万円

### 防災対策

防火貯水層新設(小沢地区)	488万円
---------------	-------

### 災害復旧事業

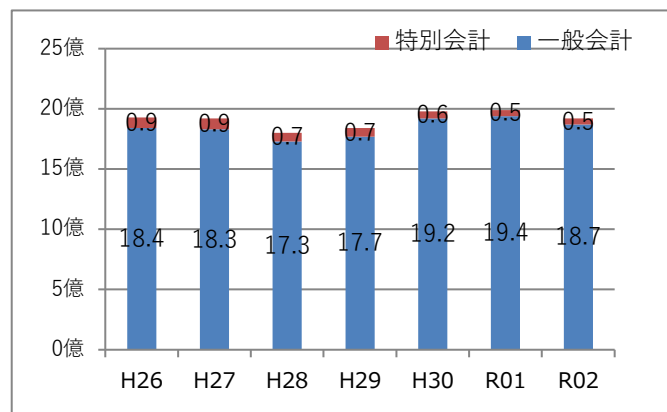
令和元年台風災害復旧事業	1億8,880万円
村道(8路線)林道(1路線)消防引入道(1箇所)	

## ■ 村債(借入金)残高の状況

令和2年度末の村債残高は、一般会計が18億7,467万円、特別会計が4,729万円となりました。今年度は、過疎対策事業、災害復旧事業等で9,813万円を借入れましたが償還金が1億6,798万円となり、一般会計で6,985万円減となりました。

引き続き財政運営上有利な起債を活用し、後年度の財政負担を勘案した村債の発行に努めます。また借入をその年度の償還額以内にする事で村債の減少に努めます。

村債残高 単位(億円)

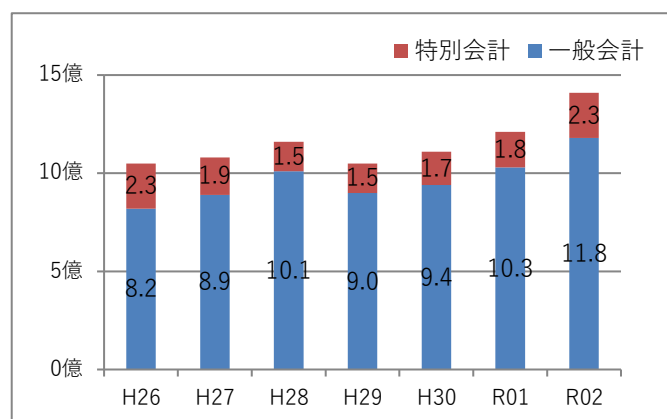


## ■ 基金(積立金)残高の状況

令和2年度末の基金残高は、一般会計が11億7,665万円、特別会計が2億2,749万円となりました。今年度は財政調整基金に1億3,800万円を積立てた他、森林整備に対応するために創設された森林環境譲与税基金に940万円積立て、一般会計は合計で1億5,089万円増となりました。

今後も災害等の不測の事態や人口減少による税收減等に対応する為、一定程度の基金残高を維持するよう努力していきます。

基金残高 単位(億円)



## ■ 特別会計の状況

会計	歳入	うち一般会計繰入金		歳出	差引額
国民健康保険特別会計	3億195万円	1,529万円		2億9,216万円	979万円
簡易水道特別会計	4,242万円	1,296万円		4,242万円	0万円
自然休養村特別会計	190万円	190万円		190万円	0万円
生活排水特別会計	2,935万円	1,313万円		2,935万円	0万円
介護保険特別会計	6億7,723万円	1億5,279万円		6億7,712万円	11万円
後期高齢者医療特別会計	4,557万円	2,034万円		4,554万円	3万円